

2019 年度在学生 在学生アンケート調査 結果（公開用）

目白大学短期大学部

1. 目的

短期大学部学生の学修や学生生活面での満足度を明らかにし、今後の教育および学生生活サポートに活用する。

2. 対象

目白大学短期大学部 2019 年度在学生を対象とした。

3. 方法

2019 年 3 月 29 日に実施した。

4. 回答者数と回答率

	在学生数	有効回答数	回答率
生活科学科	70	69	98.6%
製菓学科	60	56	93.3%
ビジネス社会学科	79	74	93.7%
合計	209	199	95.2%

5. アンケート結果概要

- ・クラブ・サークル、ボランティア活動に注力している学生は、全学科とも 1～2 割程度であり、授業以外の学生生活を課外活動に充てている学生はごく少数であった。一方、アルバイトに注力している学生は、全学科とも約 8 割程度みられた。
- ・卒業後の目標を持っている学生の割合は、製菓学科で 5 割以上が該当し、そのうち 8 割以上が専門分野の技術や知識の習得と関連した内容であった。生活科学科およびビジネス社会学科において、目標を持っている学生の割合は約 5 割であったが、専門分野の技術や知識について、半数以上が修得できたと回答しており、在学中に短大の学びを通して目標を定めていく傾向にあると考えられる。
- ・短大での学びについて、全体の 5 割以上の学生が「幅広い教養が身についた」「社会人としての常識・マナーが身についた」と回答しており、教養や基礎知識を修得できたと感じている学生が多くみられた。教養については全学科ともほぼ同じ傾向にあるが、「社会人としての常識・マナー」は、製菓学科で「身についた」と回答した学生に比べて「やや身についた」と回答した学生の割合が高く、他 2 学科と比較すると評価が低い結果がみられた。製菓学科においては、必修科目数の都合上、短大共通科目の履修率が低いことと関係があると考えられる。